

命の源「水」を守り 受け継がれてきたこの自然環境を次世代へ

駒ヶ根 水と命を守る会 通信

R05.10.01

vol.19

【発行】 駒ヶ根 水と命を守る会 会長 松崎 剛也

◇ 全体役員会が開催され議案が承認されました

9月25日に一心館で開催された「駒ヶ根 水と命を守る会」全体役員会では、以下の議案の審議が行われ、全ての事項について可決されました。

本年度の事業に対して、引き続き、皆様のご協力をお願いします。

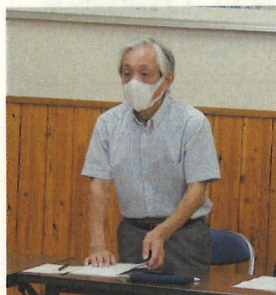
【令和4年度事業報告】

- ◇ 全体役員会（書面決議）
- ◇ 「宮田の環境を守る会」と連携した勉強会
- ◇ 看板修繕 ◇ 水質検査
- ◇ 駒ヶ根水と命を守る会通信発行（17・18号）



【令和4年度決算報告】

- ◇ 歳入：賛同団体負担金
- ◇ 歳出：看板補修材料費
切手・封筒等雑費



【令和5年度事業計画】

- ◇ 学習会の開催：事業阻止に関する各種学習
- ◇ 要請行動：「宮田の環境を守る会」と共に長野県に対して対応を要請
- ◇ 看板維持管理：計画反対看板の改修・補修等の対応
- ◇ 水質検査：「宮田の環境を守る会」と共に水質検査を実施

【令和5年度予算計画】

- ◇ 賛同団体からの負担金を原資として各種取組みを実施

会議の様子は、
裏面をご覧ください。



全体役員会では、様々な分野から選出された委員の皆さんのそれぞれの立場から、大変多くの貴重なご意見やご提言をいただきました。

時間が経つと関心が薄れてしまう。

市内でも関心に地域差がある。

国や県では法律に沿った判断しかできないので、市民の運動で押さえつけていかなければならない。

当会の設立当時のような活発な活動を通じて、多くの人に知ってもらうことが必要。

水質検査の結果を比較して、市民に公表していくことも必要では？

隣組回覧時に区長からの説明が大切。



地下水への影響が心配。

地域のおいしい米をつくる立場からも、食の安全は大事！

業者が諦めるまで反対活動が必要。

多くの媒体を活用すれば、業者へのけん制にもなる。

風評被害は、環境面への影響や、不買運動にもつながる恐れが高い

具体的な数値から、なぜ反対なのか、どうなるのかをしっかりと想定した上で訴えていく必要がある。

影響がある下流域も含め、より広域的な対応が必要。

当会の活動を、類似課題の参考にしたい。

以上のように、近隣住民だけの問題ではなく、風評被害につながれば農産物や企業製品、観光など、広い範囲での影響があることが確認されました。そのためにも、関心を持ち続け、反対運動を続けていくことの大切さを改めて感じました。

放射性物質を含む廃棄物最終処分場建設への 反対署名に多くの方のご協力をお願いします

「宮田の環境を守る会」と連携して取り組んでいる廃棄物最終処分場建設への反対署名にご賛同いただける方は、ぜひ、ご協力をお願いいたします。

署名用紙は、「宮田の環境を守る会」Web サイトから取得できます。



URL <https://miyadakankyo.jimdofree.com/>



QRコードはこちら